

< 令和 6 年度名取市障がい者等地域づくり協議会の取組み >

組 織 ・ 開 催 回 数			内 容
全体会		2 回	令和 6 年度協議会の体制及び活動（計画）について 令和 6 年度上半期の活動報告について 地域生活支援拠点等整備について
運営会議		9 回	協議会の体制、役割分担、活動計画について 地域生活支援拠点等整備の課題整理について
専門部会・連絡会	相談支援部会	9 回	各専門部会、連絡会の活動報告参照
	くらし部会	1 0 回	
	相談支援連絡会	1 2 回	
	就労連絡会	9 回	
	グループホーム 連絡会	5 回	
	精神保健医療 福祉連絡会	1 1 回	
	こども福祉 連絡会	1 1 回	

< 令和 7 年度名取市障がい者等地域づくり協議会の体制及び取組み（案） >

組 織 ・ 開 催 回 数			内 容
全体会		2 回	協議会の体制及び活動（計画・報告）について 地域生活支援拠点等整備について
運営会議		9 回	各課題の共有 協議会の体制、役割分担、活動計画について 地域生活支援拠点等整備の課題取組状況について
専門部会・連絡会	相談支援部会	1 2 回	各専門部会、連絡会の活動計画（案）参照 新たな連絡会として、「医療的ケア児支援連絡会」の立ち上げを予定している。 医療的ケア児支援の課題整理や取組について、医療的ケア児等コーディネーターが集まり、年間 3 ～ 4 回程度、協議を行う予定としている。
	くらし部会	1 2 回	
	相談支援連絡会	1 2 回	
	就労連絡会	随時	
	グループホーム 連絡会	5 回	
	精神保健医療 福祉連絡会	1 2 回	
	こども福祉 連絡会	6 回	

※専門部会は、専門部会長を中心として、活動内容・回数・参集機関等を決める。

名取市地域生活支援拠点課題

資料 1 - 2

テーマ	相談	優先度 (高中低)	困難度 (高中低)	優先順位 (◎○△)	対応
課題等	①相談支援専門員の質の向上。	高	中	◎	相談支援部会
	②計画相談が必要な障害児、者へのセルフプラン対策。	高	高	○	相談支援部会
	③児童セルフプランの対策として、事業所間連携体制加算の促進。	中	中	○	こども福祉連絡会
	④緊急時の24Hの相談体制。	中	高	△	
	⑤緊急時の支援が見込めないハイリスクの方の事前把握と登録への周知	中	高	△	
	⑥初回相談窓口の体制の充実	中	低	◎	相談支援部会
	⑦相談機関(介護保険分野、こども支援課、保健センター等)の役割の整理と連携	中	中	○	相談支援部会
	⑧地域生活支援拠点コーディネーターの配置	中	高	△	

テーマ	体験の機会・場	優先度 (高中低)	困難度 (高中低)	優先順位 (◎○△)	対応
課題等	①一人暮らしに向けた体験ができるアパートタイプと日中サービス支援型のGH不足。	中	高	○	グループホーム 連絡会
	②障がい児、強行、精神の方、医ケア、車椅子の女性、未就学児のSS体験、受け入れ先の不足。	高	高	○	くらし部会
	③緊急時を見据えて、各事業所との利用契約、登録、定期SS利用の体制づくりと促進。	中	中	○	くらし部会
	④地域移行の方の体験の場としてのグループホーム空き部屋活用	中	低	◎	グループホーム 連絡会
	⑤本人・家族への体験の必要性の周知・説明	中	低	◎	くらし部会

テーマ	緊急時の受け入れ・対応	優先度 (高中低)	困難度 (高中低)	優先順位 (◎○△)	対応
課題等	①受け入れ事業所(強度行動障害の方)の不足と空床の不足。	高	高	○	くらし部会
	②緊急時、定員超過時の受け入れのルール周知。夜間受け入れ時の課題(夜勤者対応・行政とのやり取り・食事や準備物の問題)	中	中	○	くらし部会
	③障がい者家族等に緊急SS事業の十分な説明	中	低	◎	くらし部会
	④家族の緊急時、感染症等により医ケア児の医療機関受入れ先不足と他機関の連携体制整備	高	中	◎	くらし部会

テーマ	専門的人材の確保・養成	優先度 (高中低)	困難度 (高中低)	優先順位 (◎○△)	対応
課題等	①不登校、引きこもりへの対応、専門性の確保。	中	中	○	相談支援部会
	②発達障害者の家族支援、支援者支援を受けられる体制の充実	中	高	○	相談支援部会 児童発達支援センター
	③医ケア、強行、同行、行動援護の人材確保、育成のための研修機会の確保(現場で学べるスキル伝達と研修の機会)。	高	中	◎	運営会議

テーマ	地域の体制づくり	優先度 (高中低)	困難度 (高中低)	優先順位 (◎○△)	対応
課題等	①社会資源の不足・拡充(日中一時、自立訓練、アパート型GH、地域活動支援センター、強行の受け入れ先、居場所)。	高	高	○	くらし部会
	②発達に遅れがない医ケア児への支援体制の不足。	高	高	○	医ケア児支援協議会
	③医ケア児への幼稚園、保育園、小学校の受け入れ体制。	高	高	○	医ケア児支援協議会
	④医療、教育、福祉の連携。	高	高	△	
	⑤障害福祉計画に基づいた地域課題の設定、対策	高	低	◎	運営会議
	⑥障害福祉サービス提供事業所から高齢分野の施設への連携(GH⇒高齢者施設へのスムーズな移行、障害特性の理解)。	中	中	○	相談支援部会
	⑦若い世代からの障がいや心の健康に関する理解促進に向けた取り組み。インクルーシブ教育に向けた啓発活動。	中	中	○	こども福祉連絡会
	⑧入所、アパート契約等にかかる身元引受人・保証人がいない、または高齢で難しい場合の支援体制	中	高	△	
	⑨障害児の就学に係る医療機関の不足	高	高	△	

令和 6 年度相談支援部会活動報告

【部会概要】

開催時期	毎月第 2 木曜日 10:00～12:00
参加者	○市役所担当係 ○基幹相談支援センター ○児童発達支援センター ○市内委託相談支援事業所 ○市内指定特定相談支援事業所

【地域課題と解決のための具体的な活動内容】

課題	活動内容
① サービス等利用計画作成率の向上	○相談支援事業所および相談支援専門員の不足解消に向けた取組 ・既存の相談支援事業所での人員配置増も見越し、全体会で課題を周知。 ・不足している相談支援専門員の人数の把握。 ⇒市内のセルフプラン提出者 者：66 名、児童：286 名、計：全体⇒352 名 ※相談支援専門員 1 人が担当する計画作成数を 30 名とした場合、名取市内には 12 名の相談支援専門員が不足している。児童だけだと 10 名の不足。 ・各サービス提供事業所への相談支援事業所開設に向けた働きかけ ⇒ 1 事業所が立ち上げ予定で相談支援専門員初任者研修を受講終了していたが、法人内の異動にて、開所が難しい状況となった。 ・近隣市町の新規開設事業所情報の共有。
② 相談支援の質の向上	○相談支援連絡会から上がってきた事例についての事例検討 ⇒令和 6 年度は相談支援部会での検討事例はなく、相談支援連絡会のみで実施。 ○新規相談の件数・支援状況の共有 ⇒基幹相談支援センターおよび児童発達支援センターが設置されたことで、新規相談については各センターがとりまとめを行うこととなり、相談支援部会での実施はなかった。
③ 一時相談窓口の機能・役割分担の整理と相談支援の流れ	○一時相談窓口の役割分担整理 ⇒令和 7 年度に持ち越しとなった。 ○相談受付フローチャートの見直し ⇒課題等について協議を行った結果、児童の相談については一時相談窓口が複数になることから、今後はこども福祉連絡会と共同にてわかりやすい相談窓口の案内方法を検討していくこととなっている。
④ 関係機関のネットワーク作り、地域課題解消に向けた取り組み	○ネットワーク研修会の企画・運営 ・令和 6 年 10 月 21 日（月）に、「強度行動障害のある方のアセスメントと支援について」をテーマに研修会を開催。
⑤ 社会資源の周知	○社会資源シートの様式の見直し ・様式の見直しを行い、令和 7 年度分から新様式での情報公開予定となっている。

令和 7 年度相談支援部会活動計画（案）

【部会概要】

開催時期	毎月第 2 木曜日 10:00～12:00
参 加 者	○市役所担当係 ○基幹相談支援センター ○児童発達支援センター ○市内委託相談支援事業所 ○市内指定特定相談支援事業所

【地域課題と解決のための具体的な活動内容】

課題	活動内容
① 相談支援専門員の質の向上	○質の向上に向けた取り組みについての検討 ○相談支援連絡会から上がってきた事例についての事例検討
② 初回相談窓口の体制の充実	○一時相談窓口の役割分担の確認・整理
③ 相談機関（介護保険分野、こども支援課、保健センター等）の役割の整理と連携	○各機関の連携強化に向けた取り組みの検討
④ 障害福祉サービス提供事業所から高齢分野の施設への連携	○介護と福祉の合同研修で取り上げたいテーマについて検討
⑤ 計画相談が必要な障害児・者へのセルフプラン対策	○相談支援事業所および相談支援専門員の不足解消に向けた取り組みについて協議
⑥ 発達障害者の家族支援、支援者支援を受けられる体制の充実	○今後、活動内容について検討を行っていく
⑦ 不登校、引きこもりへの対応、専門性の確保	○今後、活動内容について検討を行っていく
⑧ その他	○社会資源シートの作成 ○情報共有等

令和 6 年度 くらし部会活動報告

部会名	くらし部会
参加者	名取市委託相談支援事業所、短期入所事業所（ショートステイきらく）、 当事者団体の代表（名取市手をつなぐ育成会）、 なとり児童発達支援センター、名取市基幹相談支援センター、 名取市社会福祉課
開催月日	令和 6 年度：4 月 17 日、5 月 15 日、6 月 19 日、7 月 17 日、9 月 18 日 10 月 16 日、11 月 20 日、12 月 18 日、1 月 15 日、3 月 19 日
検討内容	・災害時における安否確認等システムづくりについて ・地域生活支援拠点整備（緊急時ショートステイ事業について） ・移動支援事業の見直し後の運用状況把握 ・運営会議で整理された課題についての協議・検討

◇協議内容◇

1. 災害時における安否確認等システムづくりについて

○フローチャートとフォーマットの完成版について、モデルケース 3 事例でシミュレーションを実施した。

今後、相談支援連絡会を通し、相談支援事業所へ共有を図り、利用を進める。本人の希望時には名取市個別避難計画書に添付を行うこととする。

2. 緊急時ショートステイ事業について（地域生活支援拠点整備）

○緊急時ショートステイ事業利用時の支援者側の対応についてフローチャートを作成。

○登録者数について、転出者や GH 入居者等の実態に合わせ整理を行っている。

○協定事業所数…20 事業所（令和 7 年 5 月現在）

3. 移動支援事業について

○令和 5 年 4 月改訂後の実際の運用状況把握、課題等検討・協議

（主にグループ支援型の実施状況について）

・要件を満たすことなど、利用者と事業所のマッチングには時間を要する。

検討事項が出てきた際に協議する。

4. 運営会議で整理された課題についての協議・検討

○感染症に伴う対応困難事例について共有

・ 5 類移行以降、感染したことによる困難事例の報告はない。

令和 7 年度　くらし部会活動計画（案）

部会名	くらし部会
参加者	名取市委託相談支援事業所、短期入所事業所、当事者団体の代表、 なとり児童発達支援センター、名取市基幹相談支援センター、 名取市社会福祉課
開催予定月日	令和 7 年度：4 月 16 日、5 月 21 日、6 月 18 日、7 月 16 日、 8 月 20 日、9 月 17 日、10 月 15 日、11 月 19 日、12 月 17 日、 1 月 21 日、2 月 18 日、3 月 18 日
検討内容	○地域生活支援拠点整備 ・本人、家族への体験の必要性の周知、説明 ・障害者家族等に緊急時ショートステイ事業の十分な説明 ○日中サービス支援型グループホームの報告・評価について

◇具体的内容◇

1. 本人、家族への体験の必要性の周知、説明

- 親亡き後も含め、一人暮らしなどの生活の場の体験の必要性について周知方法の協議
- ショートステイの定期利用やグループホームの体験等、親元を離れた生活の体験に繋げるための働きかけについて

2. 障害者家族等に緊急時ショートステイ事業の十分な説明

- 利用実績についての報告・共有、新規協定登録事業所の報告、共有
- 登録済みの方も含め障害者家族等に緊急時ショートステイ事業について継続した説明
- 登録済みだが利用に繋がっていない本人・家族へ、利用に繋がるための働きかけについて

3. 日中サービス支援型グループホームの報告・評価について

- 日中サービス支援型グループホームについて報告・評価を県内各自立支援協議会で行うこととなり、名取市ではくらし部会で行うこととなった（市内 3 事業所）
- 名取市版の様式作成、事業所へ自己評価を依頼、コアメンバー（委託 3 事業所、基幹相談支援センター、市職員）での現地調査を行い、12 月のくらし部会で評価を行う予定

4. その他

- 地域生活支援拠点整備の課題となっている、上記に記載以外の事項に関する協議・検討
- 体験機会・場、緊急時の受入れ事業所等、社会資源の不足・拡充
- 緊急時、定員超過時の受入れルールの周知、夜間受け入れ時の課題

令和 6 年度 相談支援連絡会 活動報告

日 程	内 容	場 所（参加人数）
4 月 24 日(水)	令和 6 年度の活動計画確認・3 月事例検討後の報告 仙台保健福祉事務所地域リハビリテーション推進強化事業案内、居宅介護事業所やよい介護ロボット案内	市役所西棟 2 階会議室 (17 名)
5 月 22 日(水)	名取児童発達支援センターの事業案内 令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改正内容についての勉強会①	市役所西棟 2 階会議室 (16 名)
6 月 26 日(水)	事例検討会①（2 事例）	市役所西棟 2 階会議室 (17 名)
7 月 26 日(金)	事例検討後の報告 令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改正内容についての勉強会②（名取市説明）	市役所西棟 2 階会議室 (16 名)
8 月 28 日(水)	ケースレビュー（社会資源情報について・ケースアドバイス 4 事例）	市役所西棟 2 階会議室 (20 名)
9 月 25 日(水)	サイコロトーク（今更聞けない相談の〇〇な話）	社会福祉協議会会議室（16 名）
10 月 30 日(水)	ランチ会・ケースレビュー（社会資源情報について） 事例検討会②（1 事例）	社会福祉協議会会議室（18 名）
11 月 27 日(水)	事例検討後の報告・事例検討会③（2 事例）	社会福祉協議会会議室（20 名）
12 月 25 日(水)	事例検討後の報告 事業所の特色を知ろう（事業所見学ツアー）生活介護ヒーローズ・就労継続支援 B 型ココミラナビ見学	社会福祉協議会会議室（14 名）
1 月 22 日(水)	苦情相談・ヒヤリ・ハット事例とそこからの対応・学んだこと	社会福祉協議会会議室（18 名）
2 月 26 日(水)	令和 6 年度の振り返り 令和 7 年の活動について検討	社会福祉協議会会議室（13 名）
3 月 26 日(水)	事例検討会④（2 事例）	社会福祉協議会会議室（15 名）

※インターンシップ研修・・・希望が出た際に随時調整します。

※ちょっとケースレビュー・・・随時受け付けています。

○参加事業所：名取市内相談支援事業所（9 事業所）

- ・なとり生活支援センター窓・サポートケア名取ありのまま舎 ・名取メンタルヘルス
- ・なとりソーシャルサポートセンターぽこあぽこ・ピノキオハウス・MOU CO LITA 名取
- ・名取障害児・者相談支援センター・なとり児童発達支援センター・名取市基幹相談支援センター

○目的

相談支援事業所が顔を合わせて、日頃の業務や情報の共有、事例検討等を行う。

各相談支援専門員・相談員のスキルアップの場として活用する。

地域のつながりの中で相談支援を提供できる体制を作る。

○日程

毎月第 4 水曜日 13：30～15：00

○事務局：名取市基幹相談支援センター

☎022-797-2667

令和7年度 相談支援連絡会 活動計画（案）

資料4-2

○年間予定

日 程	内 容	場 所
4月23日(水)	令和7年度の活動計画確認・3月事例検討後の報告	社会福祉協議会 会議室
5月28日(水) 10:30～	ケースレビュー（社会資源情報・ケースアドバイス） 勉強会 らいぶMOTT 「重度障害者の就労支援」	
6月25日(水)	事例検討会①（2事例） 事例提出：名取メンタルヘルス・ありのまま舎	
7月23日(水)	事例検討後の報告 勉強会 アスイク「不登校・ひきこもり支援」	
8月27日(水)	ケースレビュー 勉強会「就労選択支援について」	
9月17日(水)	事例検討会②（2事例） 事例提出：なとり児童発達支援センター・窓	
10月22日(水)	ランチ会・ 事例検討後の報告	
11月26日(水)	事例検討会③（2事例） 事例提出：ピノキオハウス・ぽこあぽこ	
12月24日(水)	事例検討後の報告 事業所の特色を知ろう（事業所見学ツアー）	
1月28日(水)	勉強会 くらしの相談室「親亡き後の生活・金銭管理」	
2月25日(水)	令和6年度の振り返り 令和7年の活動について検討	
3月25日(水)	事例検討会④（2事例） 事例提出：MOU CO LITA 名取・名取障害児者相談支援センター	

※インターンシップ研修・・・希望が出た際に随時調整します。

※ちょこっとケースレビュー・・・随時受け付けています。

○参加事業所：名取市内相談支援事業所

- ・なとり生活支援センター窓・サポートケア名取ありのまま舎 ・名取メンタルヘルス
- ・なとりソーシャルサポートセンターぽこあぽこ・ピノキオハウス・MOU CO LITA 名取
- ・名取障害児・者相談支援センター・なとり児童発達支援センター・名取市基幹相談支援センター

○目的

相談支援事業所が顔を合わせて、日頃の業務や情報の共有、事例検討等を行う。

各相談支援専門員・相談員のスキルアップの場として活用する。

地域のつながりの中で相談支援を提供できる体制を作る。

○日程

原則毎月第4水曜日 13:30～15:00

○事務局：名取市基幹相談支援センター

☎022-797-2667

令和6年度 就労連絡会（活動報告）

○目的

- ・名取市内の障がいをお持ちの方の生活を支援する取り組みについて、就業の側面からの検証と、課題を整理し、より良い支援方法と体制の構築を検討する。
- ・事業所間の情報交換と共有により、販路拡大に繋げ就労事業所全体の収益向上を目指す。

○参加事業所

就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、基幹相談支援センター、名取市社会福祉課

- ・チョコなとり ・テラグラッサ ・名取市みのり園 ・友愛作業所
- ・HELLOS名取 ・MAKANA ・manabyCREATORS名取駅前 ・ラ・フリーズ
- ・ロクファームアタラタ ・wara ・Cocomira Navi(ココミラナビ)

○令和6年度の取り組み

開催日	場所	参加事業所数	内容
4月8日(月)	市役所西棟	・9事業所 ・障がい者支援係	・てて・マルシェについて ・本年度の事業所役割担当について ・情報交換 等
5月27日(月)	名取市民体育館 第2会議室	・9事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	・てて・マルシェについて ・就労連絡会の運営について 等 全体会報告に向けての確認
8月5日(月)	市役所西棟	・9事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	・全体会報告 ・ててマルシェについて ・各研修担当から進捗状況について ・情報交換 等
10月7日(月)	市役所西棟	・8事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	・ててマルシェについて ・情報交換 等
12月2日(月)	市役所西棟	・8事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	・ててマルシェについて ・情報交換 等
1月27日(月)	増田公民館	・8事業所 ・障がい者支援係	・困難事例の検討会
2月3日(月)	市役所西棟	・10事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	・ててマルシェについて ・各研修担当者より日程・内容等の進捗状況について確認 ・次年度の役割担当について ・情報交換 等
2月3日(月)	市役所西棟	・10事業所 ・障がい者支援係 ・基幹相談支援センター	(就労連絡会終了後開催) BCP研修 ・感染症について
3月6日(木)	名取市文化会館 1階和室	・参加者36名 (A型：8名、B型：24名、 名取市：1名、基幹相談支援 センター：3名)	障がい者虐待防止・権利擁護研修 ・意思決定支援について

令和 7 年度 就労連絡会活動計画(案)

1. 連絡会の目的

- ・名取市内の障がいをお持ちの方の生活を支援する取り組みについて、就業の側面からの検証と、課題を整理し、より良い支援方法と体制の構築を検討する。
- ・事業所間の情報交換と共有により、販路拡大に繋げ就労事業所全体の収益向上を目指す。

2. 参加事業所

就労継続支援 A 型事業所、就労継続支援 B 型事業所、基幹相談支援センター、
名取市社会福祉課

- ・テラグラッサ ・名取市みのり園 ・名取市友愛作業所
- ・HELLOS 名取 ・MAKANA ・manabyCREATORS 名取駅前 ・ラ・フリーズ
- ・ロクファームアタラタ ・wara ・Cocomira Navi(ココミラナビ)

3. 年間活動内容

名取市障がい者等地域づくり協議会委員: 友愛作業所

- 定期的な連絡会の開催（進行）
- ・ててマルシェ開催についての情報共有

事務局: 名取市社会福祉課、アタラタ、Cocomira Navi(ココミラナビ)

- 名取市障がい者等地域づくり協議会全体会への出席(説明)

法令班: こねくと、テラグラッサ、MAKANA、HELLOS 名取、manabyCREATORS

[目的] 事業所の運営管理に関する理解、習得(制度改正内容など)

- 研修会開催 日程は未定
- ・虐待防止に係る研修会
- ・BCP 作成に係る研修会

研修班: HELLOS 名取、名取市みのり園

[目的] 事業所の運営管理に関する理解、習得(各事業所の支援内容に関する検討)

- 事例検討会 日程は未定

令和 6 年度 グループホーム連絡会 活動報告

【開催目的】

- ・ 名取市内でグループホームを運営する事業所が横のつながりを構築し、運営における情報交換を行っています。
- ・ 特に、制度の解釈やグループホームのルール設定、支援方法に関する悩みなど、各事業所から話題を挙げ、相互に助言や情報提供を行っています。
- ・ 年 1 回の研修を行い、世話人等の支援の向上に役立てています。

【参加事業所】 9 事業所

- ・ うらやす
- ・ は一もにいほうす
- ・ 那智の郷
- ・ 名取メンタルヘルス
- ・ ひよこの家
- ・ みんなの家
- ・ RASIEL 名取
- ・ RASIEL 美田園
- ・ 桂實苑

◎活動内容

日 時	場 所	内 容
6 月 27 日 (木) 13:30～15:00	うらやす	○ 今年度の活動計画の確認 ○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の内容の検討
9 月 19 日 (木) 13:30～15:00	うらやす	○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の内容の検討 役割分担・スケジュール等
12 月 19 日 (水) 13:30～15:00	名取市役所 4 階会議室	○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の打合せ
2 月 13 日 (木) 13:30～15:00	名取市役所 西棟会議室	○ 研修会の開催 ・ 主に管理者やサービス管理責任者を対象に実施。 【講義】 「身体拘束の予防に関する概要と事例」 【座談会】 「グループホームのルールから行動制限について考える」 講師：宮城県障害者権利擁護センター 所長 鈴木 みゆき氏
3 月 13 日 (木) 13:30～15:00	うらやす	○ 次年度の活動計画の検討（内容・頻度・役割分担等） ○ 次年度の研修内容の検討 ○ 各事業所との情報交換

令和 7 年度 グループホーム連絡会 活動計画（案）

【開催目的】

- ・ 名取市内でグループホームを運営する事業所が横のつながりを構築し、運営における情報交換を行っています。
- ・ 制度の解釈やグループホームのルール設定、支援方法、人材育成に関する悩みなど、各事業所から話題を挙げ、相互に助言や情報提供を行っていきます。
- ・ 年 1 回の研修を行い、世話人等の支援の向上に役立てていきます。

【参加事業所】

9 事業所

- ・ うらやす
- ・ は一もにいほうす
- ・ 那智の郷
- ・ 名取メンタルヘルス
- ・ ひよこの家
- ・ みんなの家
- ・ RASIEL 名取
- ・ RASIEL 美田園
- ・ 桂實苑

その他新規事業所等があればお声がけします。

◎ 年間予定

日 時	場 所	内 容
6 月 19 日（木） 13:30～15:00	うらやす	○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の内容の検討 ○ 地域拠点整備の課題に関する検討
9 月 18 日（木） 13:30～15:00	未定	○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の打合せ（役割分担等） ○ 地域拠点整備の課題に関する検討
12 月 18 日（木） 13:00～15:00	未定	○ 各事業所との情報交換 ○ 研修会の打合せ ○ 地域拠点整備の課題に関する検討
12 月～1 月頃	未定	○ 研修会の開催
3 月 19 日（木） 13:30～15:00	未定	○ 次年度の活動計画の検討、役割分担 ○ 各事業所との情報交換 ○ 地域拠点整備の課題に関する検討

※ 地域拠点整備の課題＝「体験の機会の場合、空床利用について」

親なき後など先々を見据え、GH 利用や单身生活などの体験ができる場や機会の構築について考えていきます。

R6年度 精神保健医療福祉連絡会 活動報告

【連絡会概要】

開催日	毎月第4火曜日 10:00～12:00	
構成員	○県立精神医療センター ○名取熊野堂病院 ○宮城県塩釜保健所岩沼支所 ○仙台保護観察所 ○名取市社会福祉課 ○にも包括都道府県等密着アドバイザー	○名取市保健センター ○名取ありのまま舎 ○名取メンタルヘルス協会 ○なとりソーシャルサポートセンターぽこあぽこ ○名取市基幹相談支援センター
目的	精神障がい者の方が、名取市で安心して自分らしい暮らしができるように、協議の場を通じて地域のなかで助け合える体制を構築していくこと、そのための具体的な方法を企画・運営していくこと。 ※R元年10月より、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(通称:にも包括)構築へ向けた協議の場のため、精神包括ケアシステムプロジェクトチーム(通称:精神CSP)が連絡会に位置づけられた。	

【R6年度活動内容】

開催状況	毎月第4火曜日 10:00～12:00 計画通り11回開催(うち1回は研修会)	
①支援者支援	令和3年度から支援者支援のための研修として取り組んできたテーマ「ストレングス・リフレーミングの視点」の底上げ・実践 テーマ:「ストレングス・リフレーミングを取り入れたインテークアセスメント」 日 時:1/21(火)13:30～16:30 名取市役所6階第1・2会議室 参加者:44名(申込者49名) 対象者:名取市内の障害(児・者)福祉サービス事業所、医療機関、行政機関等の支援員や職員 講 師:仙台市宮城野区役所障害高齢課 精神保健福祉相談員 佐藤 喬二 氏 内 容:テーマについて演習を取り入れながらの講義 【演習①】ストレングスについて(ペアワーク) 【演習②】事例を通じてストレングスアセスメントを練習してみよう(グループワーク) 【演習③】研修を受けて気づいたこと、明日から取り組みそうなこと(グループワーク) ※研修の最後に、連絡会で取り組んでいるマイぴ～すノートについて紹介し参加者にアンケート実施。また、次年度モニター募集すること告知し一次募集行う。	
②マイぴ～すノートの試行と検証	◎マイぴ～すノート:ご本人が地域生活を安定して送るためのツール(名取バージョンクライシスプラン) 病状悪化時ではなくご本人のいい所探しに主眼をおいて検討、試行版を作成。今年度、6月から12月を試行期間として、連絡会メンバーが関わっている方で同意が得られた方を対象に試行を実施。毎月、試行状況を共有し、使い心地や内容についての意見や感想等から完成版へ向けて検討。メンバー以外にもマイぴ～すノートを作成・活用してもらい、効果の検証と修正意見等をもらうため、モニター調査を実施することとした。	
③事例検討会	ストレングス・リフレーミングの視点はマイぴ～すノート作成や活用につながるため、ストレングス視点をういた事例検討の方法を名取ありのまま舎熊谷センター長に講師を依頼し、連絡会メンバーで学び、実践として事例検討を実施。	

R7年度 精神保健医療福祉連絡会 活動計画(案)

【連絡会概要】

開催日	毎月第4火曜日 10:00～12:00	
構成員	○県立精神医療センター ○名取熊野堂病院 ○宮城県塩釜保健所岩沼支所 ○仙台保護観察所 ○名取市社会福祉課 ○にも包括都道府県等密着アドバイザー	○名取市保健センター ○名取ありのまま舎 ○名取メンタルヘルス協会 ○なとりソーシャルサポートセンターぽこあぽこ ○名取市基幹相談支援センター
目的	精神障がい者の方が、名取市で安心して自分らしい暮らしができるように、協議の場を通じて地域のなかで助け合える体制を構築していくこと、そのための具体的な方法を企画・運営していくこと。 ※R元年10月より、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(通称:にも包括)構築へ向けた協議の場のため、精神包括ケアシステムプロジェクトチーム(通称:精神CSP)が連絡会に位置づけられた。	

【R7年度活動内容】

- ①支援者支援:「ストレングス・リフレーミングの視点」をテーマにした基礎と実践研修の実施
- ②マイぴ〜すノート:完成版へ向けた外部モニター調査の実施
- ③事例検討:支援者の困り感にフォーカスを当て、ストレングスを見つけられる事例検討の実施

実施日	協議・活動内容
第1回 4月22日	○これまで取りまとめた地域課題とR7年度の活動計画の確認 ○マイぴ〜すノートモニター調査の実施内容とアンケートについて
第2回 5月27日	○研修会:内容・講師・スケジュール等について ○マイぴ〜すノートモニター調査募集案内送付、モニター調査説明
第3回 6月24日	○研修会:講師打合せ調整・講師と具体的な内容相談。開催要項・講師依頼文等準備 ○マイぴ〜すノートモニター調査開始、モニター調査説明
第4回 7月22日	○研修会:講師打合さを踏まえ研修スケジュール・内容・役割分担について
第5回 8月26日	○研修会:最終打合せ・確認・参加申し込み開始・締め切り
第6回 9月 未定	◇研修会 ストレングス・リフレーミングの視点の底上げ(基礎編と実践編)
第7回 10月28日	○研修会アンケート集計結果・研修のふりかえり・まとめ
第8回 11月25日	未定
第9回 12月23日	○マイぴ〜すノートモニター調査期間終了、アンケート回収
第10回 1月27日	○マイぴ〜すノートモニター調査アンケート集計結果の確認。使い心地や内容についての意見や感想等から、完成版へ向けて検討
第11回 2月24日	○マイぴ〜すノート完成版の確認
第12回 3月24日	○R7年度精神CSPのまとめ ○次年度に向けての課題評価・検証・今後の取り組む課題について

※マイぴ〜すノート:ご本人が地域生活を安定して送るためのツール(名取バージョンクライシスプラン)

令和 6 年度 こども福祉連絡会活動報告

●こども福祉連絡会の目的

「親子が安心して暮らし続けていくことができる名取市地域づくり」を目指して、地域課題の整理・関係機関の地域ネットワーク形成と連携強化を図ることを目的とします。

- そのための具体的な目標 ・市内の現状、課題、ニーズを把握する ・ネットワーク作りと情報共有
・地域の課題解決に向けて他部門との連携強化 ・利用者への情報の見える化

1) 令和 6 年度こども福祉連絡会コアメンバー活動内容

開催日時 内容	① 4/10 4/15 ネットワーク会の最終確認 ② 5/20 ネットワーク会アンケート集計結果・GW のまとめを踏まえて今後のネットワーク会で取り組む内容整理 ③ 6/12 ④7/8 7/12 ネットワーク会内容協議・確認 ⑤ 9/26 12/6 ネットワーク会内容について協議・講師打合せ内容共有 ⑥ 11/6 12/6 ネットワーク会最終確認 ⑦ 11/14 相談支援部会へ参加「こどもの相談窓口の課題」について GW ⑧ 2/12 11/14 に出た課題整理・解決に向けての取組協議 ●こどもの相談フロー（素案）を今後相談支援部会と共同作成予定 ●市内保育所に児童発達支援等福祉サービス・療育について周知の場検討 ●なとり子育てガイドに社会資源 QR コード掲載依頼（R8 年度作成）
構成員	ぴっぴ名取・リッキーガーデン名取駅前・なとり児童発達支援センター・名取市基幹相談支援センター

2) 令和 6 年度 こども福祉連絡会ネットワーク会活動内容

開催回数	年 3 回（4/15、7/12、12/6）
参加者	市内障害福祉サービス事業所の管理者・児童発達支援管理責任者・支援員・行政機関担当者・相談支援事業所相談員等
内容	●第 1 回 4/15（参加者 35 名）：名取市民体育館大会議室 ワールドカフェ形式グループワーク実施。2 月に出た課題テーマ別（療育システム・家族支援・人材育成・連携・社会資源・職場環境、体制・個別支援の課題）で取り組むアイデア出し ① 福祉と教育との連携 ②健診会場での保護者相談会等保健センターとの連携 ③社会資源シート・事業所マップの作成 ④個別支援方法の事業所間共有・勉強会 ●第 2 回 7/12（参加者 40 名）：名取市民体育館大会議室 グループワークで、社会資源シートの項目内容見直しと活用方法を話し合い。 2 事業所から事業所紹介 ●第 3 回 12/6（参加者 44 名）：名取市役所 6 階会議室 研修会「インクルーシブ教育 教育・福祉の連携について」 講師：みどり台中学校 中村 順一 教諭 2 事業所から事業所紹介

令和7年度 こども福祉連絡会活動計画(案)

●こども福祉連絡会の目的

「親子が安心して暮らし続けていくことができる名取市地域づくり」を目指して、地域課題の整理・関係機関の地域ネットワーク形成と連携強化を図ることを目的とします。

●そのための具体的な目標

- 市内の現状、課題、ニーズを把握する
- ネットワーク作りと情報を共有
- 地域の課題解決に向けて他部門との連携強化
- 利用者への情報の見える化

1) 令和7年度こども福祉連絡会コアメンバー活動計画

開催日時		内容
1	4月16日(水)10:00	・相談業務フローチャート検討
2	6月26日(木)9:30	・相談業務フローチャートの協議・確認(完成) ・9月実施ネットワーク会の内容整理と事前役割について(最終確認)
3	10月頃(未定)10:00	・9月実施のネットワーク会の振り返り ・11月(12月)ネットワーク会の内容整理と事前役割について
4	1月中旬頃	
構 成 員		
リッキーガーデン名取駅前・CoCo+ (ココプラス)・名取市基幹相談支援センター・なとり児童発達支援センター		

その他、地域生活支援拠点整備の課題となっている下記事項に関する協議

- ・児童セルフプランの対策として、事業所間連携体制加算の促進。
- ・若い世代からの障がいや心の健康に関する理解促進に向けた取り組み。
- ・インクルーシブ教育に向けた啓発活動。

2) 令和7年度こども福祉連絡会ネットワーク会活動予定

開催回数	年 2 回(9/3 ・11 月(予定))
参 加 者	市内障害福祉サービス事業所の管理者・児童発達支援管理責任者・支援員・行政機関担当者・相談支援事業所相談員等
内 容	●第 1 回 9/3(水)名取市文化会館小一ホール ・なとり児童発達支援センターの業務と関係機関との連携について ・相談業務フローチャート活用について ・事業所紹介 ●第 2 回 11 月(予定)場所未定 講演会：発達障害の基礎理解と対応 ～療育のポイントについて～ 講師 未定

令和 6 年度 名取市基幹相談支援センター 活動報告

1. 総合相談 実人数

	実人員	身体 障害	重症心身 障害者	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	難病	その他	計
障害者	485	77	0	73	296	53	7	7	6	519
障害児	48	1	2	20	0	22	0	0	6	51
計	533	78	2	93	296	75	7	7	12	570

2.当初相談経路 (単位：件)

	本人	家族・友人	地域 関係者	医療機関	相談支援 専門員	障害福祉 サービス 事業所	関係機関 等	その他	計
件数	69	58	5	24	90	28	259	0	533

3.相談方法 (単位：件)

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	オンライン 相談	個別 支援会議	関係 機関	その他	計
延べ件数	135	53	45	503	84	0	85	1,593	3	2,501
(再掲)オンライン分							4	0		

4.相談内容

	福祉 サービス 利用	障害や 病気の 理解	健康 ・ 医療	不安 解消 ・ 情緒 安定	保育 ・ 教育	家族 ・ 人間 関係	家計 ・ 経済	生活 技術	就労	社会 参加 ・ 余暇 活動	権利 擁護 ・ 成年 後見	その他	計
件数	1,181	123	313	245	25	183	123	255	288	38	27	278	3,079

5.地域の相談支援事業所への支援

	新規		継続	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
支援件数	26	83	41	123

- ・指定特定相談支援事業所初回訪問・アセスメント整理支援・ケア会議の進め方・今後の支援方針協議支援
- ・委託相談支援事業所から指定特定相談事業所に引き継いだケースの後方支援
- ・地域包括支援センターとの共同ケース導入支援
- ・地域包括支援センター介護と障害複合した家庭への支援
- ・初任者研修受講後のフォローアップ、アセスメント面談同行、サービス等利用計画書の確認、サービス担当者会議同行支援
- ・困難ケースの支援方針についてケア会議、事業所訪問による計画相談後の進捗状況確認と支援方針の相談、モニタリング訪問同行支援
- ・相談支援従事者（初任者・現任者）課題添削支援、初任者研修（7・9・10月）現任者研修（11月・1月）演習講師等

6.地域移行・地域定着支援の実践

	新規		継続	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
支援件数	1	2	28	100

県立精神医療センターちいくら会・チーム医療委員会出席。退院に向けた病院訪問面会支援・外出支援・退院調整会議出席・退院に向けた GH 体験利用同行、退院後のサービス調整。退院後生活状況確認のための自宅訪問。医療保護観察入院患者のケア会議出席、宿泊型自立訓練施設体験宿泊時訪問、外出支援同行、体験利用後の振り返り面談実施、退院後の生活についてケア会議

7.障害者虐待に関する通報・届出の受付

	養護者による虐待	施設従事者による虐待	使用者による虐待	計
障害者	15	4	0	19
障害児	0	3		3

8. 障害者虐待に関する通報・届出に関する虐待内容

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放任	経済的虐待	計
障害者	17	0	6	1	0	24
障害児	3	0	1	0	0	4

9. 障害者虐待に関する養護者や被虐待者への相談・助言等の対応

	新規		継続	
	実人数	延べ件数	実人数	延べ件数
障害者	19	208	33	219
障害児	3	30	2	8

10.地域の支援体制整備の取り組みとして

地域のニーズの掘り起こし・住民への啓発活動として 6/28 民生児童委員会長会で基幹相談支援センターの周知・案内。各地区民児協定例会（7月名取が丘、館腰、増田、8月下増田、閑上、愛島、西部、9月増田西、高館）各地区公民館に訪問し基幹の業務内容、権利擁護・虐待防止・成年後見制度の周知を行い、相談会を実施。

2/17、3/17 閑上公民館、にて成年後見制度・障害福祉サービス等の周知・出張相談・ててマルシェの広報を実施。

11.地域の事業所から課題としてのあがってきた意見

- なとり児童発達支援センター開設に伴い、障害児相談体制の整理、なとり児発センター相談業務慣れるまでの間のフォロー体制必要⇒相談支援フローの確認、初回相談時のすみ分け確認実施。市・なとり児発センター・委託相談支援事業所・基幹とで話し合い実施。
- 相談支援専門員の不足について⇒引き続き相談支援部会で協議
- 就学にあたり保健センターと委託相談支援事業所のすみわけについて⇒相談機関の役割整理と連携について次年度こども福祉連絡会と相談支援部会協働での協議
- 強度行動障害の支援学校卒業後の日中活動先見つからずの状況⇒強度行動障害の方の受け入れ先の不足課題

令和 7 年度 名取市基幹相談支援センター 事業計画

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

内容	具体的内容
総合的・専門的な 相談支援の実施	障害のある方、ご家族等を対象に、電話、来所、訪問、同行等により個別相談に応じる。また、必要に応じて、情報提供や適切な支援機関の紹介を行う。
	社会福祉課、介護長寿課等と連携し、障害福祉の視点でインテークを行い、情報提供や相談支援事業所等を紹介する。
	総合相談窓口について周知するため、パンフレット等を配布する。
	定期的にケースレビューを行い、支援方針を定め、支援経過を管理し、職員間で共有する。

(2) 地域の相談支援体制の強化の取組

内容	具体的内容
相談支援体制	インテークを通じて見えてきた課題を整理し、地域の実情に合った相談支援体制を検討する。
地域の相談支援事業所への支援	・地域の指定特定相談支援事業所、指定障害児相談支援事業所及び委託相談支援事業所の困りごとに対して相談に応じたり、対応困難事例に対して後方支援を行う。 ・専門機関を紹介することでチーム強化を図り、解決できるようコーディネートする。
人材育成	・相談支援連絡会において事例検討を行い、相談支援専門員等の問題解決能力の向上を図る。 ・支援者の支援力向上を図るため、相談支援事業所及び福祉サービス事業所等からの依頼を受け、訪問等を行う。
法定研修	当センターにて法定研修（宮城県障害者相談支援従事者研修等）における実地教育を行う。また、地域で続けてフォローアップが必要な場合は要請を受け後方支援を行う。
地域包括支援センターとの連携協働	必要に応じ障害と介護の複合した支援会議に参加し、地域の課題解決を図っていく。
宮城県障害者自立支援協議会人材養成部会への参加	相談支援体制の整備等に関する検討、相談支援従事者の人材育成に関する研修等の企画・運営、市町村地域自立支援協議会の活性化に向けた検討・調整等の活動内容について部会へ参加する。また、名取市障がい者地域づくり協議会相談支援部会委員へ報告する。

(3) 地域移行・地域定着の促進の取組

内容	具体的内容
精神科病院との関係構築及び普及啓発	精神科病院と連携した地域の支援体制を構築する。 ・ 県立精神医療センター：ちいくら会・チーム医療委員会等 ・ 近隣の精神科病院：自立協及び CSP への協力依頼、病院訪問等
	精神科病院及び入院患者に対し、地域移行支援及び地域定着支援について普及啓発を行う。
地域移行・地域定着の実践	地域移行支援、地域定着支援が必要な方については、地域の相談支援事業所に支援を依頼し、当センターがバックアップを行う。もしくは、当センターで個別支援を行う。
実践の検証及び支援体制の検討	精神 CSP 等で、実践事例の検証をもとに、地域移行支援及び地域定着支援の在り方や地域の支援体制について検討する。関係機関と情報共有し実践に活かしていく。
研修会等の開催	支援者に対し精神障害のある方への支援力向上を図るための研修会を開催する。

(4) 権利擁護・虐待の防止

内容	具体的内容
成年後見制度に関する取組	障害のある方、ご家族、その他関係機関等より、成年後見制度に関する相談に応じる。
	成年後見制度の相談窓口として周知を図るため、住民向けのパンフレットを配布する。
権利擁護・虐待の防止に関する取組	医療・福祉・教育機関等において障害者の支援に携わる職員を対象に、権利擁護・障害者虐待防止に関する研修会を実施する。
	社会福祉課、地域包括支援センターと権利擁護に関する情報共有、及び必要に応じて協議を行う。 ※地域の相談支援体制の強化の取組と連動。
地域ニーズの掘り起こし、住民への啓発活動	障害福祉全般や権利擁護等に関する個別相談会を実施する。
	市の広報誌などを活用し、市民に事業の周知を図る。

(5) 障害者虐待防止センター事業の実施

内容
障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報・啓発
養護者、障害福祉施設従事者等、使用者による障害者虐待に関する通報又は届出の受理
障害者虐待及び障害者虐待を受けたと思われる障害者の保護のための相談、指導及び助言
社会福祉課との連携
研修への参加